



スポーツフェスティバル

グラウンドのコンディションが悪く1日延期となりましたが、5月21日に上阿多古スポーツフェスティバルが行われました。今年は久しぶりに何の制限もない中での開催となり、多くの保護者や地域の方に御参加いただきました。児童数の減少に伴い、今年度から紅白対抗をやめ、保護者や地域の方の参加種目を増やしました。「スポーツフェスティバル」の名の通り、上阿多古地区のみんなで体を動かして楽しむお祭りになることを目指して実施しました。昨年度からPTAを中心に企画を進めてくださった棒体操には、本当にたくさんの方が参加してくださって、園児、小学生、中学生、保護者、地域の方とみんなで盛り上がることができました。



そして、今年度も体育協会の方々や中学生のボランティアに御協力いただき、運営することができました。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

リモート学習



6月2日、9日と2週続けて荒天による休校となりました。学校は幸いなことに雨漏り程度の被害で済みましたが、県道9号線は大きく崩れて通行止めとなっています。どちらの日も、月曜日に子供たちが元気に登校してくれてほっとしました。

休校になった両日には、算数、国語を中心にリモートで学習支援を行いました。教室での授業と同様には進みませんが、少ない時間でも友

達の顔が見られたり、学習が進められたりすると、1日家に閉じこもらなければならない日に、少し気分を変えることができたのではないかと感じました。

6月12日 いのちについて考える日

毎年6月の会礼では、命について話をすることにしています。今年は「いのちのまつり」という本の読み聞かせをしました。命のつながりをテーマにした絵本です。以前にも紹介したことがあるのですが、子供たちは集中して聴いていました。自分の命がかけがえのないものであること、周りの人の命も同様であり、大事にしてほしいと話しました。各学級でも、今月は道徳の授業で命について取り上げます。

